PRM-300 シリーズ



デジタルカメラ
取扱説明書



ご使用前に本説明書をご一読ください

FCC に関する注意事項

本装置はFCC規則第１５条に準拠しています。本装置の操作にあたっては、次の２つの条件を前提とします。
(１) 本装置は、有害な電波干渉の原因となってはならない。
(２) 本装置は、予想外の動作の原因となる干渉を含めたあらゆる干渉を受容しなければならない。

注：
本装置は、FCC規則第１５条に基づくクラスＢデジタル機器の範囲内であることが検査により証明されています。この範囲は、住宅地域への設置にあたり、有害な電波障害を防止する目的で設定されています。本装置は高周波エネルギを生成、使用、放射するため、本書に従って設置および使用しないと、無線通信における電波障害を引き起こすおそれがあります。しかしながら、これは特定の設置方法により、電波障害が発生しないことを保証するものではありません。本装置が無線やテレビの受信障害を起こしているかどうかは、本装置の電源のオンとオフを切り替えることで判断できます。電波障害が発生する場合、次の対処方法を試してみることをお勧めします。

■ 受信アンテナの方向や位置を変える。
■ 本装置とレシーバをできるだけ離れた位置に配置する。
■ 本装置とレシーバの電源を、それぞれ別のコンセントに接続する。
■ ディーラ、あるいは経験のある無線やテレビ技術者に問い合わせる。

本装置をFCC規則第１５条のＢの範囲に適合させるためには、シールドケーブルを使用する必要があります。マニュアルに特に記載のない限り、本装置の改造や修理を行わないでください。そのような改造や修理がなされた場合は、本装置のご使用を中止ください。

商標について

■ Microsoft®およびWindows®はMicrosoft Corporationの米国における登録商標です。
■ Pentium®はIntel Corporationの登録商標です。
■ MacintoshはApple Computerの商標です。
■ SD™は商標です。
■ 他の会社名および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

はじめにお読みください

注意：

1. デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。これには製品本体の仕様およびソフトウェア、ソフトウェアドライバ、ユーザマニュアルが含まれます。このユーザマニュアルには本製品についての概要が記載されています。
2. 本ユーザマニュアルに誤りや矛盾があった場合について、製造者は何ら責任を負いません。
3. ドライバのアップデートや本マニュアルの改版については、当社ウェブサイトをご覧ください。 http://www.c-mex.co.jp/

警告

■ カメラは濡らさないよう、また内部に水が入らないよう注意してください。雨や雪など悪天候時の使用や、海や水の近くでの使用には十分な注意が必要です。極端に湿気の多い場所でのご使用はお避けください。カメラ内部に水が入った場合は使用を中止し、電源を切って電池を抜きます。その後担当ディーラ、あるいは認定を受けたサービスマンにご相談ください。発火や感電の恐れがありますので、続けてのご使用はおやめください。

■ 異物がカメラ内部に入った場合は使用を中止してください。電源を切って電池を抜き、担当ディーラ、あるいは認定を受けたサービスマンにご相談ください。発火や感電の恐れがありますので、続けてのご使用はおやめください。

■ カメラの落下などにより怪我をする恐れがありますので、揺れるテーブルや傾いた面など不安定な場所にカメラを置かないでください。カメラが落下により損傷した場合、電源を切って電池を抜き、担当ディーラ、あるいは認定を受けたサービスマンにご相談ください。発火や感電の恐れがありますので、続けてのご使用はおやめください。

■ 発火や感電の恐れがありますので、メモリーカードスロットなどのアクセスポイントから金属やその他異物をカメラ内部に挿入しないでください。

■ 発火や感電の恐れがありますので、本カメラを改造しないでください。また、本カメラのケーシングをはずさないでください。内部の検査や修理は認定サービスマンのみ行うことができます。

■ 事故を招く恐れがありますので、運転中に本カメラを操作しないでください。

注意：

■ 発火や感電の恐れがありますので、調理用コンロや加湿器など、油気や蒸気の近くに本カメラを置かないでください。

■ 直射日光の当たる場所や閉じた車中など、高温になる場所に本カメラを置かないでください。高温にさらされると、カメラケースやその中身に悪影響を与えるだけでなく、発火を招く恐れもあります。

■ 内部が加熱され、カメラケースがゆがんだり、発火を招く恐れがありますので、布やキルトをかぶせたり、包んだりしないでください。本カメラおよびアクセサリは常に通気性のよい環境で使用してください。

■ カメラは注意深く扱い、衝撃や振動を与えないでください。乱暴な扱いは故障の原因となります。

■ 指定以外の電池を使用しないでください。指定以外の電池の使用により、電池の損傷や漏洩が起こり、発火や怪我、電池挿入場所の損傷を招く恐れがあります。

■ カメラに電池を挿入するときは、プラスとマイナスの向きが正しいかどうか確認してください。挿入向きを誤るとカメラが動作せず、また電池の損傷や漏洩が起こり、発火や怪我、電池挿入部分の損傷を招く恐れがあります。

■ 漏洩により、発火や怪我、電池挿入部分の損傷を招く恐れがありますので、長期間カメラを使用しない場合は、カメラの電池を抜いてください。電池の漏洩が確認されたされたら電池の挿入口をきれいに拭き取り、新しい電池を挿入してください。電池から出た液体に触れた場合は、液体に触れた場所をよく洗ってください。

目次

はじめに

概要

本デジタルカメラは3.0メガピクセルの画像装置を搭載しており、画像補正により解像度6.3M（2912 × 2184）の高品質画像を実現します。また、1.5インチTFTカラーイメージ液晶モニタにより、ユーザは写真の構図を確認でき、また写真を詳細まで検証することができます。さらに、自動フラッシュセンサが自動的に撮影環境（光）を察知し、フラッシュ使用の可否を判断するため、写真は常に適切な状態で撮影されます。

カメラには16MBのメモリが内蔵されているので（画像の保存には14MBを利用可能）、メモリカードを新たに追加することなく撮影、保存が可能です。また、さらに保存容量を増やしたい場合は、別売のメモリカードにより512MBまで増量することができます。

静止画に加え、ムービー機能でビデオクリップを記録することも可能です。

USBケーブルで接続すれば、撮影した画像をパソコンに取り込むこともできます。さらに同梱の編集ソフトウェアやお手持ちの画像編集ソフトウェアを使用して、パソコン上で画像を加工することも可能です。また、Eメールや、リポート、ウェブサイトを利用して、お友達と画像を共有することもできます。



注：

■ 本マニュアルに記載のイラストは機能などの説明を目的としていますので、実際のカメラの形態とは異なる場合があります。

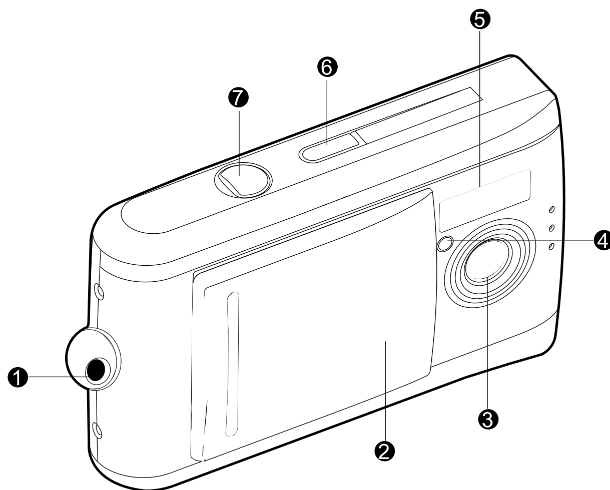
製品の内容

丁寧に開封し、次のアイテムが入っていることを確認してください。

- デジタルカメラ
- USBケーブル
- ソフトウェアCD-ROM
- カメラ用ストラップ
- カメラケース
- 単4形アルカリ乾電池 2本
- 取扱説明書
- 保証書

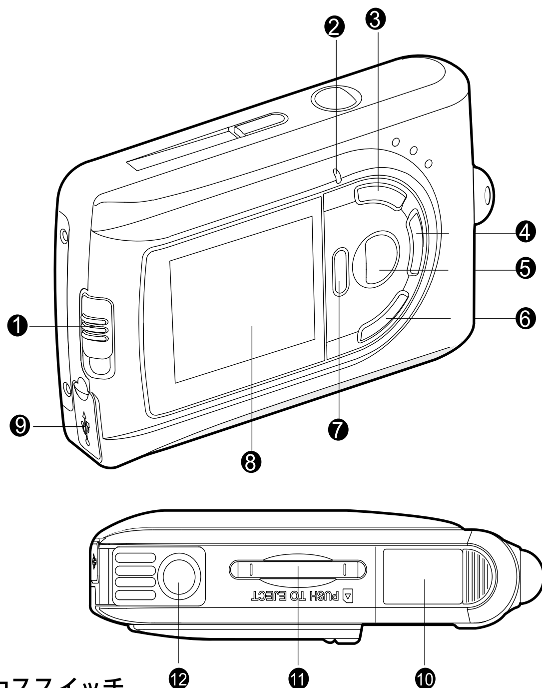
カメラをよく知ろう

前面部



1. ストラップ取り付け部
2. レンズカバー
3. レンズ
4. セルフタイマーLED
5. フラッシュ
6. **POWER**ボタン
7. シャッターボタン

背面部

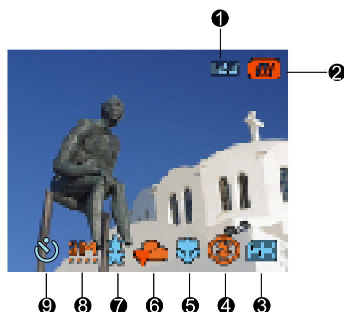


1. フォーカススイッチ
   マクロモード
   通常モード
2. ステータスLED
3. ▲ 矢印ボタン（上）
   サムネイルボタン
   MENUボタン
4. ▶ 矢印ボタン（右）
   MODEボタン
5. **SET**ボタン
   フラッシュボタン
6. ▼ 矢印ボタン（下）
   ズームボタン
7. ◀ 矢印ボタン（左）
   レビューボタン
   削除ボタン
8. 液晶モニタ
9. USBコネクタ
10. 電池カバー
11. メモリカードカバー
12. 三脚用ねじ穴

液晶モニタアイコン

表示アイコン — 静止画記録モード：

1. 撮影可能枚数
（現在のサイズおよび画質にて）
2. 電池レベル
   - 電池フル
   - 電池切れ
3. メモリカードインジケータ
4. フラッシュモード
   - 自動発光
   - 発光禁止
5. フォーカスモード
   - マクロモード
   - 通常モード
6. 色温度補正
   - A オート
   - 晴天
   - 曇天
   - 電灯
   - 蛍光灯
7. 画質
   - スーパー
   - ファイン
   - 標準
8. 画像サイズ
   - 6M 2912 × 2184ピクセル
   - 3M 2032 × 1520ピクセル
   - 1600 × 1200ピクセル
   - 1280 × 960ピクセル
   - 640 × 480ピクセル
9. セルフタイマモード



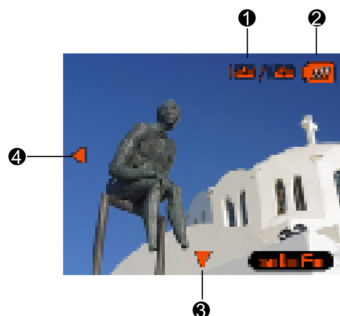
表示アイコン ― ムービーモード

1. 電池レベル
2. ムービーモード
3. メモリカードインジケータ



表示アイコン ― 再生モード：

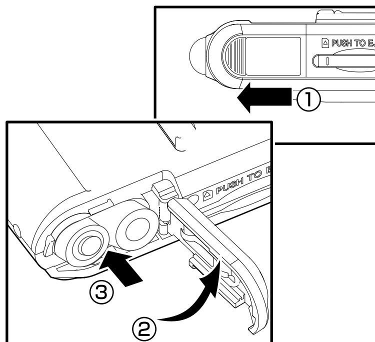
1. フレーム番号
2. 電池レベル
3. 次の画像を表示
4. 前の画像を表示



さあ始めましょう

カメラの電池にはアルカリ単４形乾電池、あるいはニッケル水素充電電池（別売オプション）を使用できます。

電池を挿入する



1. カメラの電源が入っていないことを確認します。
2. 矢印の方向に電池カバーをスライドします。
3. 電池のプラスとマイナスの向きが正しいかどうか確認し、電池を挿入します。
4. 電池カバーをしっかりと閉じます。

注：

■ 異なった種類の電池の使用や周囲の温度によって、電池の寿命は変化します。

■ 低温での使用は電池の寿命を縮め、カメラのパフォーマンスを低下させるため、極端に寒い環境での電池の使用は避けてください。低温環境の場合、アルカリ電池の性能を下げるので、充電タイプのニッケル水素電池の使用をお勧めします。

■ 新しい充電式電池を使用する場合や、長期間使用していなかった充電電池を使用する場合、撮影可能枚数に影響が出る場合があります（使用期限を過ぎている場合はこの例にならいません）。したがって、性能と寿命をよりよくするために、一度フルに充電し、使い切ってから、再度充電し本番で使用されることをお勧めします。

■ 長期間使用しない場合は、液漏れや腐食を防止するため電池を取り出します。

■ 異なった種類の電池を同時に使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

■ マンガン電池を使用しないでください。

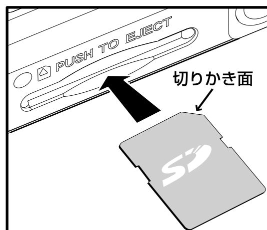
SDメモリカードを挿入する(別売オプション)

カメラには内蔵メモリが16MB(画像保存には14MB使用可能です)あり、カメラ本体に撮影した画像やビデオクリップを保存することができます。さらにオプションのSDメモリカードを使用すれば、メモリ容量を増やすこともでき、さらに多くの画像やビデオクリップを保存できます。

1. カメラの電源が切れていることを確認します。
2. SDメモリカードを挿入します。

■ メモリカードの前面(挿入面)がカメラの底面を向いていることを確認します。

■ カードが入らないときは向きを確認してください。



 **注:**

■ 最初に使用する前に、本カメラ用にメモリカードを初期化していることを確認してください。詳細については「メディアを初期化する」のセクションを参照してください。

メモリカードの抜き取り

カメラの電源が切れていることを確認します。メモリカードの端を軽く押すと、カードがイジェクトされます。

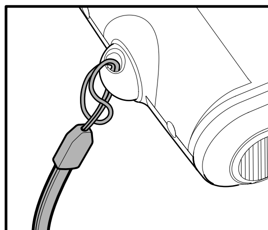
 **注:**

■ SDメモリカードから大切なデータを誤って消去しないようにするには、書き込み防止のスイッチ(SDメモリカードの側面)を「ロック」の方にスライドさせます。

■ SDメモリカードのデータを保存や編集、消去するにはロックを解除する必要があります

ハンドストラップを取り付ける

カメラの落下を防ぐため、常にストラップを使用します。



電源ON／OFFを切り替える

カメラの電源は次の方法で切り替えます。

1. ON／OFFの切り替えにはPOWERボタンを使用します。
   - 写真やビデオクリップの撮影の前にレンズカバーをスライドします。
   - 電源を入れると、はじめは  モードになっています。

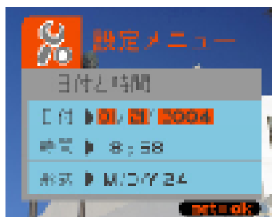
注：

カメラの電源を入れたまま一定時間使用しないと、カメラはアイドルモードに切り替わり、電池の節約のため自動的に電源が切れます（お客様の設定状態に依存します）。

日時を設定する

次の状態のとき、日時の画面が表示されます。
■　始めてカメラの電源を入れたとき
■　長期間電池を入れずに保管していたカメラの電源を入れたとき

日時の画面が表示されたら、次の方法で正しい日時を設定します。



1. ▲／▼ボタンで設定する項目を選択し、▶ボタンを押します。
■　[日付]：日付を設定します。
■　[時間]：時間を設定します。
■　[形式]：日時の表示方法を設定します。
2. 値を変更するには ▲／▼ ボタンを押し、SET ボタンを押して確定します。
日付／時間：▶ボタンで変更する箇所を選択します。
3. SET ボタンを押して決定し、メインメニューに戻ります。

画像解像度と画質を設定する

画像のピクセルサイズ(画素数)、画像ファイルサイズ、圧縮率は、解像度と画質の設定によって決まります。これらの設定により、内蔵メモリやメモリカードに保存できる画像の枚数が変化します。カメラをよく理解するために、解像度と画質の各設定を試し、それぞれが画像に与える効果を把握されることをお勧めします。

解像度と画質の設定を高くするほど高品質な写真になりますが、ファイルサイズも大きくなり、数枚の写真で多くのメモリを使用してしまいます。

高解像度および高画質の設定は、写真をプリントする場合や細部にまでこだわった画像を必要とする場合にお勧めします。低めの解像度や画質の画像はメモリの消費量が少ないため、Eメールやリポート、ウェブサイトで画像を共有する場合に適しているでしょう。

画像解像度と画質を変更するには、次のステップに従います。

1. MODEボタンで を選び、SETボタンを押し決定します。
2. MENUボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンで [解像度] / [画質] を選択し、▶ボタンを押します。
4. ▲/▼ ボタンで希望する設定を選択し、SETボタンを押し決定します。

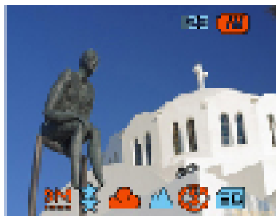
■ ◀ボタンで移動させ、メニューモードから出ます。



記録モード

画像を撮影する

本カメラには写真の構図を確認するための1.5インチ液晶モニタが装備されています。
写真撮影を始める前にレンズカバーが外れており、フォーカススイッチが適切な撮影用モードに設定されていることを確認してください。



1. レンズカバーを外します。
2. フォーカススイッチを に設定します。
3. MODEボタンで を選択し、SETボタンを押して決定します。
4. 表示画面上で構図を確認します。
5. 被写体が中心にくるようにし、シャッターボタンを押します



注：

■ 液晶ディスプレイは強い日光や明るい光の下では暗くなります。これは故障ではありません。

■ 接写する場合はフォーカススイッチを に設定します。フラッシュモードは自動的に に設定されます。

■ 最後に記録した画像を見るには、 ボタンを押します。再度 ボタンを押すことで、記録モードに戻ります。

デジタルズーム

デジタルズームを使うと、より接近した画像を見ることができます。デジタル処理により、画像を劣化させることのないズームが可能になります。



1. MODEボタンで を選択し、SETボタンを押し決定します。
2. 液晶モニタを見ながら写真の構図を決めます。
3. ⌕ボタンを押し、デジタルズームを使用します。
   ■ ⌕ボタンを押すことで4倍まで拡大できます。

   →1X → 2X → 4X →

4. シャッターボタンを押し、拡大された画像を撮影します。

 **注：**

■ デジタルズームは解像度が3M2032 × 1520ピクセルの場合のみ利用できます。

セルフタイマー

セルフタイマーの時間は10秒です。シャッターボタンを押し、セルフタイマーを起動します。セルフタイマーのLEDは7秒目までゆっくりと点滅し、残りの3秒からは速い点滅に変わります。この機能を利用すれば、グループで写真を撮るときにも仲間に入ることができます。

1. カメラを三脚や安定した台の上に固定します。
2. **MODE**ボタンで 📷 を選択し、**SET**ボタンを押します。
3. **MENU**ボタンを押します。
4. ▲／▼ ボタンで［セルフタイマー］を選択し、▶ボタンを押します。
5. ▲／▼ ボタンで［はい］を選択し、**SET**ボタンを押します。

■ ◀ボタンを使ってメニューモードから出ます。

6. シャッターボタンを押します。

■ セルフタイマーが起動します。

■ セルフタイマーをキャンセルするには、カウントダウン中にシャッターボタンを押して中断します。



注：

■ 一度セルフタイマーで写真を撮ると、セルフタイマモードはオフになります。

■ 再度セルフタイマーで撮影したい場合は、同じステップを繰り返します。

フラッシュ

フラッシュは光の状態により必要と判断された場合に自動で機能します。通常モード（フォーカススイッチが ▲▲ に設定されている場合）で有効です

1. MODE ボタンで を選択し、SET ボタンを押します。
2. 希望するフラッシュモードになるまで繰り返し ボタンを押します。



A: 自動発光
周囲の光を考慮して自動的に発光します。通常のフラッシュ設定で写真を撮りたい場合は、このモードを選択します。

: 発光禁止
発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所や被写体がフラッシュの届く範囲より遠い場合にこのモードを使用します。

3. 写真の構図を決め、シャッターボタンを押します。

注：

- フラッシュを使用しない場合は設定をオフにしてください。フラッシュをオフにすることで、フラッシュのコンデンサに蓄電する必要がなくなり、カメラのスタートアップ時間が短縮され、操作もすばやくなります。必要のないときにオフにすることで、電池の寿命も長くなります。
- フラッシュは、補助側光のため２回発光する事があります。発光が終了するまでカメラを動かさないでください。
- フラッシュに充電中は、緑のLDEランプが点滅します。その間液晶は、省電力のため消灯することがあります。

再生モード

このモードを使うと、画像の確認や拡大、削除が行え、またビデオクリップの再生やスライドショーを実行することもできます。また、再生モードではサムネイル画像表示も可能で、探している画像をすばやく見つけることができます。

画像を見るには

静止画やムービーを撮影すると、それらはすぐに内蔵あるいはSDメモリに保存されます。内蔵あるいはSDメモリカードに保存した静止画やムービーは液晶モニタに表示することができます。

静止画を見るには、次のステップに従います。



1. **MODE** ボタンで ▶ を選択し、**SET** ボタンを押し決定します。
■ 最後に撮影した画像が表示されます。
■ ムービーの場合、最初のフレームは静止画として表示されます。
2. ◀／▼ボタンを使って静止画まで移動します。
■ ▼ボタンを押すと次の静止画あるいはムービーを見られます。
■ ◀ボタンを押すと前の静止画あるいはムービーを見られます。



注：

■ 画像は次の記録メディアから再生することができます。
・メモリカードが入っていない場合、内蔵メモリから再生されます。
・SDメモリカードが入っている場合、SDメモリカードから再生されます。

■ メモリに画像が保存されていない場合、「保存画像なし」というメッセージが液晶モニタ上に表示されます。

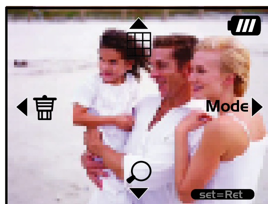
デジタルズーム再生

この機能を使うと、画像の選択した箇所を拡大して表示でき、詳細部分を確認できます。

1. MODEボタンで を選択し、SETボタンを押し決定します。
2. ◀/▼ボタンで見たい画像を選択し、SETボタンを押します。
3. ボタンを使ってデジタルズーム機能を起動します。

■ SETボタンで切り替えて画像を拡大します。

■ 拡大した画像の他の部分を見るには ▲/▼/◀/▶ボタンを押します





サムネイル画像を表示する

この機能を使うと、同時に9つのサムネイル画像を液晶モニタに表示でき、探している画像を探すことができます。

1. MODEボタンで を選択し、SETボタンを押して決定します。
2. SETボタンをもう一回押します。
3. ボタンを押します。

■ 9つのサムネイル画像が液晶モニタに表示されます（9つ以上の画像がメモリに保存されている場合)。

4. フルサイズの画像を見るには ▲／▼／◀／▶ ボタンを使って画像を選択し、SETボタンを押します。選択した画像が液晶モニタ上にフルサイズで表示されます。



スライドショーを表示する

スライドショー機能を使うと、自動で画像が順番に再生されます。記録した画像を確認したり、プレゼンテーションの場で使用するのに大変役立つ楽しい機能です。

1. **MODE** ボタンで を選択し、**SET** ボタンを押します。
2. **MENU** ボタンを押し、▲／▼ ボタンで [スライドショー] を選択します。
3. ▶ ボタンを押します。
4. ▲／▼ ボタンで再生間隔を設定し、**SET** ボタンを押します。
   - ■ スライドショーが始まり、設定した間隔で液晶モニタ上に一枚一枚画像が表示されます。
   - ■ スライドショーの表示を中止するには **SET** ボタンを押します。中止するまでスライドショーは繰り返し再生されます。



 **注：**

■ スライドショーの表示間隔は３秒、６秒、１０秒から調節できます。

■ [スライドショー] メニューから出たいときは、メニュー設定オプションから [終了] を選択します。

画像を削除する

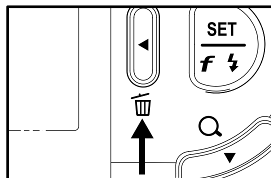
いらなくなった画像やビデオクリップは簡単に削除することができます。
写真を削除する方法には次の４つがあります。

■　一度に１つの画像を削除する
- ボタンを使用する。
- ［削除］メニューを使用する。

■　一度にすべての画像を削除する

画像やビデオクリップを１つだけ削除する（クイック削除 ― モード）：

1. MODEボタンで を選択し、SETボタンを押します。
2. 最後に記録した画像やムービーを削除するには ボタンを押します。
3. SETボタンを押します。
4. 削除のメッセージが表示されたら▲／▼ボタンで［はい］を選択し、SETボタンを押します。
   - ■ 削除を中止するには［いいえ］を選択します。
   - ■ プレビュー画面に戻ります。



画像やムービーを１つだけ削除する（クイック削除 ― モード）：

1. MODEボタンで を選択し、SETボタンを押します。
2. ◀／▼ボタンで削除したい画像やビデオクリップを選択します。
3. SETボタンを押します。
4. 現在見ている画像を削除したときは ボタンを押します。
5. 削除のメッセージが表示されたら▲／▼ボタンで［はい］を選択し、SETボタンを押します。
   - ■ 削除を中止するには［いいえ］を選択します。



画像やムービーを１つだけ削除する（削除メニュー）：



1. MODEボタンで ▶ を選択し、SETボタンを押します。
2. ◀／▼ボタンを使って削除したい画像やビデオクリップを選択します。
3. MENUボタンを押します。
4. ▲／▼ボタンで［削除］ボタンを選択し、▶ボタンを押します。
5. ▲／▼ボタンで［この画像削除］を選択し、SETボタンを押します。
6. ▲／▼ボタンで［はい］を選択し、選択した画像の削除を確定し、SETボタンを押します。

■ 次の画像かビデオクリップが表示されます。

画像やムービーを削除する（全画像）：



1. MODEボタンで ▶ を選択し、SETボタンを押します。
2. MENUボタンを押します。
3. ▲／▼ボタンで［削除］ボタンを選択し、▶ボタンを押します。
4. ▲／▼ボタンで［全画像削除］を選択し、SETボタンを押します。
5. ▲／▼ボタンで［はい］を選択し、画像すべての削除を確定し、SETボタンを押します。
   ■ 液晶モニタには「保存画像なし」のメッセージが表示されます。

注：

■ 内蔵メモリに保存されている画像やビデオを削除するときは、メモリカードを抜いてください。カードが入っていると、メモリカードに保存された画像やビデオクリップが削除されてしまいます。

メディアを初期化する

このユーティリティ機能は、内蔵メモリ（あるいはメモリカード）の初期化を実行し、保存されているすべての画像やデータを消去します。



1. **MODE** ボタンで ▶ を選択し、**SET** ボタンを押します。
2. **MENU** ボタンを押します。
3. ▲／▼ ボタンで［削除］ボタンを選択し、 ボタンを押します。
4. ▲／▼ ボタンで［フォーマット］を選択し、**SET** ボタンを押します。
5. ［はい］を選択し、メモリカードあるいは内蔵メモリの初期化を確定し、**SET** ボタンを押します。
   ■ 液晶モニタ上に「保存画像なし」のメッセージが表示されます。

注：

■ 初期化は取り消しが出来ません。消去されたデータは後で復元することができません。

■ 内蔵メモリの初期化を行うときは、メモリカードを抜いてください。メモリカードを入れたままにしておくと、メモリカードが初期化されてしまいます。

内蔵メモリのコンテンツをメモリカードへコピーする

この機能を使うと、カメラの内蔵メモリに保存された画像をSDメモリカードにコピーすることができます。この機能は内蔵メモリに画像が保存されており、SDメモリカードがカメラに挿入されている場合のみ機能します。

静止画やムービーを内蔵メモリからSDメモリカードにコピーするには、次のステップに従います。

1. カメラの電源が切れていることを確認し、SDメモリカードを挿入します。
2. カメラの電源を入れます。
3. **MODE** ボタンで ▶ を選択し、**SET** ボタンを押します。
4. **MENU** ボタンを押します。
5. ▲／▼ボタンで［SDカードへコピー］を選択し、▶ボタンを押します。
6. コピーを実行するには ▲／▼ ボタンを使って［はい］を選択し、**SET** ボタンを押します。
   - ■ コピー中であることを示す画面が表示され、コピーが終了すると再生画面に戻ります。





注：

■ SDメモリカードのデータを内蔵メモリにコピーすることはできません。

スタートアップ時の画面を変更する

カメラのスタートアップ時の画面を指定することができます。この画面はご自身で撮影した静止画の中から選択することができます。

新しいスタートアップ画面を起動するには次のステップに従います。



1. **MODE** ボタンで ▶ を選択し、**SET** ボタンを押します。
2. ◀／▼ ボタンで指定したい静止画を表示します。
3. **MENU** ボタンを押します。
4. ▲／▼ ボタンで［起動画面に登録］を選択し、▶ボタンを押します。
5. ▲／▼ ボタンで［はい］を選択し、新しい画面を確定し、SETボタンを押します。
   - ■ ◀ ボタンでメニューモードから出ます。
   - ■ 次にカメラの電源を入れるときには新しい画面が表示されます。

DPOF（プリント予約）を設定する

DPOFとはSDメモリカードや他のメディアにプリント情報を直接記録するための標準です。DPOFフォーマットで保存されたファイルは互換性のあるプリンタやラボの印刷機でプリントできます。

静止画にDPOFを設定するには：

1. **MODE**ボタンで ▶ を選択し、**SET**ボタンを押します。
2. **MENU**ボタンを押します。
3. ▲／▼ボタンで［DPOF］を選択し ▶ボタンを押します。
4. ▲／▼ボタンで［一画像］を選択し、**SET**ボタンを押します。
5. ▲／▼ボタンで希望する項目を選択し、**SET**ボタンを押します。
   - ■［枚数］：画像の枚数を選択します（0〜9）。◀／▶ ボタンで希望する枚数を選択します。
   - ■［画像設定］： ◀／▶ボタンで他に指定したい静止画を選択します。
   - ■［終了］：メニューモードから出ます。メニューモードから出るには**SET**ボタンを押



すべての静止画にDPOFを設定するには（一度に）：

1. **MODE**ボタンで ▶ を選択し、**SET**ボタンを押します。
2. **MENU**ボタンを押します。
3. ▲／▼ボタンで［DPOF］を選択し、▶ボタンを押します。
4. ▲／▼ ボタンで［全画像］を選択し、**SET**ボタンを押します。
5. ▲／▼ボタンで［はい］を選択し、この設定を確定し、**SET**ボタンを押します。

注：

■ この機能はメモリカードに保存されている静止画ファイルにのみ利用できます。

ムービーモード

ビデオクリップを記録する

ムービーモードを使うと、320 × 240ピクセルの解像度でビデオクリップを記録することができます。

1. レンズカバーを外します。
2. **MODE**ボタンで を選択し、**SET**ボタンを押し決定します。
3. ビデオクリップの記録を始めるには、シャッターボタンを押します。

シャッターボタンを再度押すまで撮影は続けられます。

4. シャッターボタンを再度押すと、記録を中止します。





注：

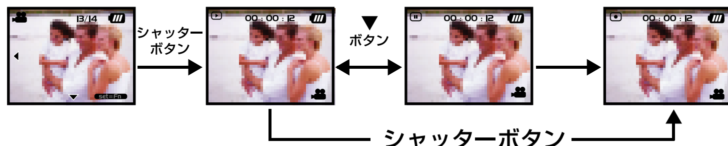
■ フラッシュやセルフタイマー機能は使用できません。

■ 音声は記録されません。

ビデオクリップを見るには

記録したビデオクリップを見るには、次のステップに従います。

1. **MODE**ボタンで を選択し、**SET**ボタンを押します。
2. ◀／▼ ボタンで見たいムービーを選択します。
3. シャッターボタンを押します。
   - ■ 再生が始まります。
   - ■ 液晶モニタ上に時間の経過を示すインジケータあるいは経過時間が表示されます。
   - ■ 再生を中止するには再度シャッターボタンを押します。（一時停止／再生：▼ボタンを押します。）



注：

- ■ ムービーの再生中、ズーム機能は使用できません。
- ■ コンピュータ上でビデオクリップを再生するにはWindows Media PlayerかApple「QuickTime Player」が必要です。
- ■ QuickTimeベーシックプレイヤはMacintoshおよびWindowsの両方で使用可能で、Apple社のウェブサイト（www.apple.com）からダウンロードし、無償でご利用いただけます。QuickTime Playerの使用方法については、QuickTimeオンラインヘルプに詳細な情報がありますのでそちらをご参照ください。

記録した画像やビデオをコンピュータに送る

画像やビデオクリップをカメラからコンピュータに送るには、次の手順に従います。

ステップ1：USBマスストレージドライバをインストールする
（Windows 98SE／MEのみ）
ステップ2：カメラをコンピュータに接続する
ステップ3：画像ファイルやビデオファイルをダウンロードする

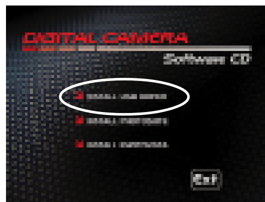
システム要件（Windows）
■ Pentium 400 MHz以上
■ Windows 98SE、Me、2000、XP
■ 128MB 以上(256MHz以上推奨)
■ ハードディスクの空き容量：128MB
■ CD-ROM ドライブ
■ 使用可能なUSBポート

ステップ１：USBマスストレージドライバをインストールする

Windows 98SE／MEコンピュータ

Windows 98SE／MEを搭載しているコンピュータの場合、USBマスストレージドライバのCD-ROMが必要です。Windows 2000/Me/XPを搭載しているコンピュータでは、画像をダウンロードするために、USBマスストレージドライバをインストールする必要はありません（ただし、PCカメラ機能をご利用になる場合は、付属のCD-ROM内のビデオドライバが必要になります）。

1. カメラに同梱されているCD-ROMを、ご使用のコンピュータのCD-ROMドライブに挿入すると、初期画面が表示されます。
2. 「**INSTALL USB DRIVER**」をクリックし、画面の指示に従ってインストールを行います。USBドライバのインストールが完了したら、コンピュータを再起動します。



ステップ２：カメラをコンピュータに接続する

1. USBケーブルの一端を、コンピュータのUSBポートに接続します。
2. USBケーブルのもう一方の一端を、カメラのUSBコネクタに接続します。
3. ▲/▼ボタンで［リムーバブルディスク］を選択し、[SET］ボタンを押します。
4. Windowsのデスクトップから、[マイコンピュータ］をダブルクリックします。
5. 新しい［リムーバブルディスク］アイコンが見つかります。この［リムーバブルディスク］とは、ご使用のカメラの内蔵メモリ（またはメモリカード）のことです。一般的に、カメラにはE以降のドライブ名が割り当てられます。
6. リムーバブルディスクをダブルクリックして、DCIMフォルダを探します。
7. DCIMフォルダをダブルクリックすると、更にフォルダが現れます。
   ■ 記録した画像やビデオクリップは、これらのフォルダの中にあります。
   ■ 動画ファイルを、コピー・貼り付け、またはドラッグ＆ドロップしてご使用のコンピュータに送ります。



 **注：**

■ 画像をコンピュータに送る際には、カメラに電池を入れる必要はありません。コンピュータに接続すると、自動的にUSBケーブルを通してカメラに電源が入ります。

ステップ3：画像ファイルやビデオファイルをコンピューターに取り込む

コンピュータに電源の入ったカメラを接続すると、カメラはフロッピーディスクやCDと同じように、ディスクドライブとして認識されます。[リムーバブルディスク] から画像をコピーすることで、コンピュータのハードドライブに取り込むことができます。

Windowsの場合

[リムーバブルディスク] とその中にあるフォルダを、それぞれダブルクリックで開きます。記録した画像はこれらのフォルダ内にあります。画像を選んで [編集] メニューから [コピー] を選択します。転送先のフォルダを開いて、[編集] メニューの [貼り付け] をクリックします。また、ドラッグ＆ドロップして、ファイルをカメラから転送先に送ることもできます。



注：

■ メモリカードを利用しているユーザには、メモリカードリーダのご使用をお勧めします。

PhotoSuiteのインストール

PhotoSuiteは、PCユーザの方にとってたいへん使い勝手のよい画像編集ソフトウェアです。PhotoSuiteを使用すると、画像の修正や構成、整理が可能です。また、フォトフレームやバースデーカード、カレンダーなどのテンプレートもソフトウェアに含まれています。まず画像を用意して、このすばらしいソフトウェアを試してみましょう。

PhotoSuiteをインストールするには：

1. カメラに同梱されているCD-ROMを、ご使用のコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。初期画面が表示されます。
2. 「INSTALL PHOTOSUITE」をクリックし、画面の指示に従ってインストールを完了します。





注：

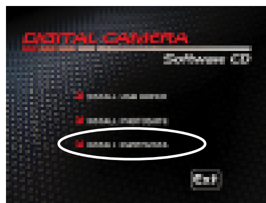
- PhotoSuiteを使って記録した画像の編集および修正を行う場合は、オンラインヘルプをご利用ください。
- Windows 2000またはXPの場合、PhotoSuiteのインストールやご利用は「管理者」モードで行います。

PhotoVistaのインストール

「PhotoVista」は360度の見事なパノラマ画像をまたたく間に作ることができる、PCユーザの方にとってたいへん使い勝手のよいソフトウェアです。このパノラマ画像を見ると、リアルな環境に入りこんだような感覚を体験することができます。PhotoVistaはそのパワフルなエンジンにより、すばやく、また自動的に複数の画像を貼り合わせます。また、画面はたいへんわかりやすく、初心者の方でもすぐにすばらしい画像を作成することができます。

PhotoVistaをインストールするには：

1. カメラに同梱されているCD-ROMを、ご使用のコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。初期画面が表示されます。
2. 「**INSTALL PHOTOVISTA**」をクリックし、画面の指示に従って、インストールを完了します。



注：

■ PhotoVistaで360度の見事なパノラマ画像を作成する方法については、PhotoVistaのオンラインヘルプをご利用ください。

■ Windows 2000またはXPの場合、PhotoVistaのインストールやご利用は「管理者」モードで行います。

■ Service Pack 1をインストールしていないWindows XPユーザの方は、まずhttp://www.java.com/en/download/windows_automatic.jspにアクセスして、Java Virtual Machineインストーラをダウンロードしてください。Javaに関する詳細は、http://java.sun.com/getjava/help.htmlのオンラインヘルプを参照ください。
Javaのインストールの完了後、iSee Media PhotoVistaをインストールできます。

■ PhotoVistaのシステム要件：
Windows 2000、Windows Me、Windows XP Service pack 1以上

ユーザーマニュアル

カメラをPCカメラとして使用する

このカメラは、PCカメラとしてお使いいただくことができます。

本カメラをPCカメラとして使用するには、次のステップに従います。
ステップ1： PCカメラドライバをインストールする（ドライバは、CD-ROMのUSBマスストレージドライバとセットになっています）
ステップ2： コンピュータにカメラを接続する
ステップ3： アプリケーションソフトウェア（Windows NetMeetingなど）を起動する


注：

■ テレビ会議（またはビデオ編集）ソフトは、本カメラに同梱されていません。

テレビ会議に関する一般的なシステム要件

カメラをテレビ会議で使用するには、コンピュータシステムが以下の要件を満たしている必要があります。

■ マイクロホン
■ サウンドカード
■ スピーカまたはヘッドホン
■ ネットワークまたはインターネットの接続

ステップ１：PCカメラドライバをインストールする

CD-ROMのPCカメラドライバはWindowsのみに対応しています。PCカメラの機能は、Macのプラットフォームではサポートされません。
1. カメラに同梱されているCD-ROMをPCのCD-ROMドライブに挿入します。初期画面が表示されます。
2.「INSTALL USB DRIVER」をクリックし、画面上の指示に従って、インストールを行います。ドライバのインストールが完了したら、コンピュータを再起動します。

注：

■ CD-ROMにあるUSBドライバは、２つの機能（USBドライバとPCカメラドライバ）を１つにして設計されています。

■ Windows 98SEの場合、OSはUSBマスストレージドライバとPCカメラドライバの両方をインストールします。

■ Windows 2000、ME、XPの場合、OSはPCカメラドライバのみインストールします。

ステップ2：カメラをコンピュータに接続する

1. USBケーブルの一端を、コンピュータのUSBポートに接続します。
2. USBケーブルのもう片方の一端を、カメラのUSBコネクタに接続します。
3. ▲/▼ボタンで［PC Cam］を選択し、［SET］ボタンを押します。
4. カメラをコンピュータのモニタの上に安定させて設置します。三脚を使うこともできます。



注：

■ PCカメラとして使用する場合は、カメラに電池を入れる必要はありません。コンピュータに接続すると、USBケーブルを通して自動的にカメラに電源が入ります。

ステップ3：アプリケーションソフトウェア（Windows NetMeetingなど）を起動する

Windows NetMeetingを使ってテレビ会議を行うには：

1. ［**スタート**］ボタンから［**プログラム**］をクリックし、［**アクセサリ**］の［**通信**］で、［**NetMeeting**］を選択すると、NetMeetingプログラムが起動します。
2. ［**ビデオの開始**］ボタンを押すと、ライブビデオを観ることができます。
3. ［**通話する**］ボタンをクリックします。
4. 相手先のコンピュータの電子メールアドレス、またはネットワークアドレスを入力します。
5. ［**通話**］をクリックします。テレビ会議を行うには、呼び出している相手もWindows NetMeetingを起動していて、なおかつあなたの呼び出しに応じる必要があります。



注：

■ テレビ会議アプリケーションの動画の解像度は、通常320×240です。

■ テレビ会議用アプリケーションソフトの操作についての詳細は、各アプリケーションの操作マニュアルをご覧ください。

■ お客様のPC環境によりご使用になれない場合があります。

メニューオプション

メニューの基本操作

■　メニューを表示するには：

1. **MODE**ボタンで ／ ／ ／ を切り替えます。
2. **SET**ボタンを押します。
   ■　モードの場合、メニューが表示されるので、ステップ３を飛ばします。
3. **MENU**ボタンを押します。
   ■　メニューが表示されます。

■　アイテムを選択するには：

1. ▲／▼ ボタンを押して、希望するアイテムを選びます。
2. ▶ボタンを押して、設定メニューに入ります。

■　設定値を選択するには：

1. ▲／▼ ボタンを押して、希望する設定値を選びます。
2. **SET**ボタンを押して、確定します。
3. ◀ボタンを押して、メニューモードから出ます。

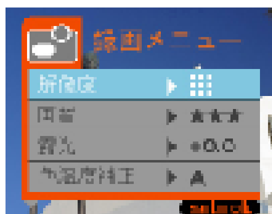
■　確認画面を実行するには：

1. ▲／▼ ボタンを押して、[はい] を選びます。
2. **SET**ボタンを押します。
3. ◀ ボタンを押して、メニューモードから出ます。

画面表示メニュー

関連するメニューオプションを表示するには、MENUボタンを押します。

記録メニュー





設定	内容	オプション
解像度	画像解像度を設定します。詳しくは、本マニュアルの「解像度と画質を設定する」を参照してください。	6M 2912 × 2184 3M 2032 × 1520 1600 × 1200 1280 × 960 640 × 480
画質	画質を設定します。詳しくは、本マニュアルの「解像度と画質を設定する」を参照してください。	スーパー ファイン 標準
露光	本カメラは、撮影シーンに合わせて、自動的に露光を調整します。ただし、被写体が暗すぎる場合、または明るすぎる場合は、カメラの自動露光よりも被写体を明るく、または暗くすることができます。この機能を露出補正といいます。 露出補正の例：	-1.5EV~+1.5EV

	■プラス (+) 補正 *画像化した印刷物 (白い紙に黒い文字) *逆光照明のポートレート *極度に明るいシーン (雪など) や反射が強い被写体 *大部分を空が占める写真 ■マイナス (-) 補正 *スポットライトの当たる被写体 (特に、背景が暗い場合) *画像化した印刷物 (黒い紙に白い文字) *反射の少ないもの。例えば、緑色の葉の写真など。	
色温度補正	本カメラは、撮影シーンに合わせて、色温度補正を自動的に調整します。しかし、撮影画像は、照明条件 (日なた、日陰、蛍光灯、白熱灯) により見た目が異なります。人間の目は照明条件 (照明温度) に合わせた調節が簡単にできますが、デジタルカメラは照明の種類を常に識別できるわけではありません。照明条件によっては、画像がおかしな色合いになります。このような場合は、撮影シーンに最も適した照明条件 (温度) を特定し、 色温度補正を変更します。	A オート 晴天 曇天 電灯 蛍光灯
セルフタイマー	セルフタイマー機能を有効／無効にします。	はい いいえ

ムービーメニュー



設定	内容	オプション
露光	詳しくは、記録メニューの「露光」を参照してください。	-1.5EV~+1.5EV
色温度補正	詳しくは、記録メニューの「色温度補正」を参照してください。	A オート 晴天 曇天 電灯 蛍光灯

再生メニュー





設定	内容	オプション
削除	詳しくは、本マニュアルの「画像の削除／メディアの初期化」を参照してください。	現在の画像 すべての画像 初期化 終了
メモリーカードへのコピー	詳しくは、本マニュアルの「内蔵メモリの内容をメモリカードへコピーする」を参照してください。	はい いいえ
スライドショー	詳しくは、本マニュアルの「スライドショーを表示する」を参照してください。	3秒 6秒 10秒 終了
DPOF	詳しくは、本マニュアルの「DPOF（プリント予約）を設定する」を参照してください。	1画像 全画像
起動画面に登録	詳しくは、本マニュアルの「カメラのスタートアップ時の画像を変更する」を参照してください。	はい いいえ

設定メニュー





	内容	オプション
日付と時間	詳しくは、本マニュアルの「日時を設定する」を参照してください。	-
操作音	カメラのボタンを押すたびに、その機能が動作したことを音で知らせる機能です。	入 切
言語選択	液晶画面に表示されるメニューとテキストの言語が選べます。	日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語
電源自動切	電源が入っているときに、何の操作もおこなわれない（ボタンを押さない）まま、設定時間（3分）が経過すると、カメラはアイドルモードに変わります。しばらくすると、電池の節約のために電源が自動的に切れます。 アイドルモードの場合、いずれかのボタンを押せば復帰できます。 電源が切れている場合は、POWERボタンを押して、再度電源を入れる必要があります。	1分 3分 5分 10分 取り消し

リセット	カメラ設定をすべて初期設定に戻すことができます。	はい いいえ
電源周波数	本カメラは、電源周波数50 Hzと60 Hzに対応しています。蛍光灯のもとで撮影する際は、地域の電源に合わせて正しい周波数を設定してください。この機能は、色温度補正を☀(蛍光灯)に設定した場合にのみ有効です。	50 Hz 60 Hz

カメラの仕様

項目	内容
撮影素子	約3.0メガピクセル
画像解像度	2912×2184ピクセル（FW補間画素6.3メガピクセル） 2032×1520ピクセル 1600×1200ピクセル 1280×960ピクセル 640×480ピクセル
液晶モニタ	1.5インチTFTカラー液晶
セルフタイマー	10秒後
ズーム	4倍デジタルズーム
撮影モード	静止画、ビデオ（ムービー）記録
メモリ	内蔵メモリ16MB（画像保存用14MB） SDメモリカード（別売。512MBまで）
レンズ	焦点距離：f=8.65mm F値:3.0
調光距離	標準：1.6m～無限 接写：0.4～0.6m
露光・補正	自動露光。マニュアル露光補正+/-1.5EV（0.3EVステップ）
色温度補正	オート、晴天、曇天、電灯、蛍光灯
ファイル形式	静止画：JPEG、動画：AVI（MPEG-1）
対応ファイル形式	JPEG、EXIF 2.2、DPOF 1.0、DCF 1.0、MPEG-1
インターフェイス（ポート）	USBコネクタ
電源	単4形アルカリ乾電池（1.5V）2本、またはニッケル水素電池（1.2V）2本（別売オプション）
外形寸法	89.5×56×24mm（幅×高さ×奥行き。突出部分を除く）
重量	約82g（電池、メモリカードを除く）

*デザインおよび仕様は、予告なく変更される可能性があります。

C-MEX

■セントレードM.E.株式会社

〒110-0016　東京都台東区台東1丁目24番9号

【カスタマーサポートセンター】　http://www.c-mex.co.jp/

受付時間 9:30～12:30,13:30～17:30（土・日・祝日・弊社休日を除く）

TEL：(03) 3834-3631　FAX：(03) 5688-1578

お問い合わせはカスタマーサポートセンターでのみ受け付けております。

【AVOX技術センター】（点検・修理製品の送り先）

〒120-0034　東京都足立区千住1丁目3番6号　TOCビル2階

TEL：(03) 3879-4445　FAX：(03) 3879-4443